

第38回全日本大学女子駅伝対校選手権

開催日：2020年10月25日（日）

場所：仙台市陸上競技場～仙台市市役所

種目	距離	名前	学年	通過着順	区間着順	記録	備考
総合	38.1km	関西外国語大学		総合18位 (24チーム中)		2時間13分18秒	2018年：13位 2時間11分44秒 2017年：17位 2時間11分12秒 2016年：13位 2時間08分53秒 2015年：13位 2時間10分23秒 2014年：21位 2時間14分03秒
1区	6.6km	西出 優月	3年	9	9	21分56秒	
2区	3.9km	山岸 みなみ	1年	8	8	12分52秒	
3区	6.9km	矢尾 桃子	2年	8	13	23分30秒	
4区	4.8km	小椋 美海	3年	10	19	17分22秒	
5区	9.2km	西松 美樹	4年	17	20	32分41秒	
6区	6.7km	森崎 綾乃	2年	18	21	24分57秒	

【山本コメント】

昨年は予選で敗退し出場できなかったが、今年は関西予選を突破して、2年ぶり6回目の出場の機会を得た。天候としては途中日差しがあったり小雨があったり、また強めの風が吹いたりして小刻みな変化はあったが、概ねよいコンディションの中のレースとなった。

レースは1区9位でスタートし、2区で8位に上がり、3区終了までは8位をキープ。ここまでは予定通りでこのまま後半もなるべくいい順位をキープしたかったが、徐々に順位を下げ、18位でのフィニッシュとなった。

順位目標を12位としていたので、チームとしては悔しい結果となった。関西予選で競い合ったライバル校が10、12、13位でゴールしたので、12位というのは決して無謀な目標ではなく、今回の結果はチームの力を出し切れたとは結果とはいえない。ただしそれも含めて、現状のチーム力であるといえよう。現チームで臨めるもうひとつの全国駅伝の機会として、12月30日富士山女子駅伝がある。まずは出場権をつかめるように今後5000mの個々のタイムを上げ、本戦に出場できた暁には、再度12位以内というチーム目標に挑戦できるよう、体制を整えていきたい。

コロナ禍の中で開催が危ぶまれた中、開催に向けてご尽力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。また、沿道での応援が自粛されたため、例年なら現地で本学チームを応援していただく皆様にはテレビやネットを通じて応援していただきました。また、SNSでいつも温かく見守ってくださる方々、大学の地元地域で普段から温かく声をかけていただく皆様にも感謝いたします。昨年の予選敗退の悔しさをバネにしたように、今回の結果をバネにして成長していけるよう努めます。こういった大会での大学生たちの若者の頑張りが、明るい社会、活気ある社会を形成していく一助になることを祈念いたします。